



○ 人生

PHP という冊子を読んでいたら、ある記事の内容に次のような文言が記述されていました。

人生、いつでも始められる いつかではなく今

人生の残り時間はわからないから、大事なことは先延ばしにしない

この記事が初めてというわけではなく、これまでも受け止めたことのある内容ですね。しかしなぜか今回、いろいろ広く考えてしまいました。そのいろいろなことの中からいくつか紹介します。

一つ目の文は一般的に小学生に対してお話しするようなものではないでしょうね。しかし比較的長く生きてきた私にとっては「そうだよな。」と思ってしまうものです。

二つ目の文は、表現は少々違いますが流行語にもなりましたね。特に受験生に向けた叱咤激励のようなことばです。しかしこれも自分にしっかり当てはまります。

三つ目の文は二つ目の文と同じような内容ですが、私にとって一番響きました。あと何年人生があるのだろうか。しかしこれは高齢者だけに当てはまるものではありません。人生の中では何が起こるかわかりません。病気、事故、犯罪被害など突然わが身に降りかかってくるかもしれないものはたくさんありそうです。どれにも遭遇したくないものですが、まったく予期しない出来事はいやですね。特に犯罪などは言語道断。ときどきニュースで報道されますが悲しいことです。戦争もそうですね。

だんだん話が暗いほうへ向かっていきそうですが、上の文の内容は前向きな取り組みに方向づけることができます。長所と短所は裏表、自分の受け止め方しだいということも考えました。

○ 自校自賛

分からないと言って欲しい 言えない人の助けにもなる

新年度が始まり 2 週間が過ぎていきました。新入生はたくさんのオリエンテーションを受けています。私はいろいろなクラスの様子を少しずつ参観して回っていましたが、あるとき上のような表現を聞きました。KC 校実習部長の説明の中に出てきたものです。独学ではない学校での学びのよいところですよ。

授業や実習では教師・師範が分かりやすく工夫して説明をしますが、学生にはわからないことや疑問点が当然出てくると思います。そういったときは遠慮なく質問をしてほしいですね。自分の疑問が解決されるだけではありません。同じ疑問を持っていても挙手できないという人もいることでしょう。その人にとっての助け舟にもなります。今よく使われることばにすると「Win, Win!」でしょうか。(ちょっと違うかな。) 実習部長は若い時から教師として仕事をしてきたわけではありません。これまでは長くシェフ・料理人でした。教育者が遣うような上の表現を聞いて私は感動しました。ここで自賛します。

OC

YC 校オープンキャンパス (OC) の 1 回目を 19 日に行いました。高校生たちもそれぞれ入学・進級して新しい環境に慣れ始めたくらいの時期でしょうか。体験実習の内容は生ドーナツでした。学生の手伝いは製菓衛生師科から 5 名です。こちらも 2 週間しか経過していません。緊張しながらも明るく対応してくれました。私も今年度 4 月になってから OC 初の似顔絵作成をしました。左から五十音順で U さん、O さん、O さん、H さん、M さんです。

右の花は冬の間美味しくいただいていたシュンギク (春菊) です。

